

## 学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

## 総合学科

### 笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深め、心豊かに主体的・創造的に生きていくことのできる資質や能力を育成する。
- 個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや、成就感を体験し、学習に対する意欲や態度を育成する。

### 1年次の目標

『産業社会と人間』の時間、授業体験、社会人講話等を通して、自己を見つめ、地域や社会を考え、将来にわたる生き方あり方について考えを深める。自分の興味・関心や適性・能力等を見出し、自分に合った進路目標の決定に努める。

### 2年次の目標

目指す進路実現に向けて、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得する。

### 3年次の目標

明確な目標意識を持ち、自分の夢や興味関心に応じた知識や技能をさらに究め、進学や就職に対応できる実践力を身につける。

### 学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

2年次以降の具体的な選択科目を決めるために、1年次では自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方、学習の仕方などを学び、「なりたい自分」探しをします。講演や体験学習を通じて、自分のこととして捉え、職業研究や進学研究をし、理想とする人物の姿を思い浮かべて自分がどう生きるべきかを考えながら授業に取り組みましょう。

2・3年次では、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得するとともに、将来の職業生活に必要な態度や能力を養います。就職・進路の幅を広げられるよう真剣に取り組みましょう。

	教科	科目	
1	国語	現代文B	
2	地理歴史	地理A	
3	理科	生物基礎	
4	保健体育	体育	
5	保健体育	保健	
6	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
7	芸術	音楽Ⅰ	選択1
8	芸術	美術Ⅰ	選択1
9	芸術	書道Ⅰ	選択1
10	国語	国語表現	選択2
11	数学	数学Ⅱ	選択2
12	外国語	英語理解	選択2
13	芸術	クラフトデザイン	選択2
14	家庭	服飾手芸	選択2
15	商業	ビジネスマナー	選択2

### 国際文化系列

16	国語	国語表現	
17	国語	古典B	
18	地理歴史	世界史B	選択3
19	地理歴史	日本史B	選択3
20	外国語	異文化理解	
21	外国語	総合英語	

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		国語・国語表現	単位	2	履修区分	必修修	必修	選択
対象学年・類型・コース		2年総合学科科 国際系列						
使用教科書		高等学校 改訂版 国語表現			第一学習社			
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語で適切、かつ効果的に表現できる生徒</li> <li>・自ら進んで表現することで、国語力の向上や社会生活の充実を図る生徒</li> <li>・「伝え合う力」を生活に活かし、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く生徒</li> </ul>						
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、小テスト及び課題内容等で学習したことの定着を、定期試験並びに到達度確認テストの成果から判断</li> <li>・意欲的に授業に臨んでいるか観察</li> <li>・基礎学力の定着を、ノート、小テスト、課題学習等の成果から判断</li> <li>・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項を、授業全般で確認</li> </ul>						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価			
1 学期	第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真からストーリーを創る</li> <li>・写真に五七五と付ける</li> <li>・誕生月の詩を選ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己独自のストーリーを創る</li> <li>・写真を見て五七五で表現</li> <li>・イメージに合った詩を選ぶ</li> </ul>	授業中の姿勢や課題の状況 定期考査	A B C			
	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を書く意味</li> <li>・文章の書き方</li> <li>・わかりやすい表現</li> <li>・表現の工夫</li> <li>・描写の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を書く意味を考える</li> <li>・基本的な書き方で書く</li> <li>・分かりやすい文章を書く</li> <li>・表現技法を理解する</li> <li>・描写の硬化を理解する</li> </ul>	授業中の姿勢や課題の状況 定期考査	A B C			
2 学期	第3回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉にする」から始めよう</li> <li>・相手理解は聞くことから</li> <li>・メールか手紙か</li> <li>・手紙を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを言葉にして相手に伝える</li> <li>・聞くことの意義を考える</li> <li>・手紙とメールの長所を考える</li> <li>・手紙の価値と必要性を理解する</li> </ul>	授業中の態度や課題の状況 話し合いの姿勢 定期考査 夏期休業課題	A B C			
	第4回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想像の旅</li> <li>・紹介文・宣伝文を書く</li> <li>・パンフレットを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告におけるコピーの目的と効果を理解する</li> <li>・紹介文、宣伝文を理解する</li> <li>・主体的に情報を発信することの必要性を理解する</li> </ul>	授業中の態度や課題の状況 話し合いの姿勢 定期考査	A B C			
3 学期	第5回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録文を書く</li> <li>・レポートを書く</li> <li>・資料を編集する</li> <li>・考えを発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録文の基本的な形式を理解し、実際に書く</li> <li>・レポートの書き方を身につけ、実際に書く</li> <li>・データを整理、編集する方法を身につけ、実際に編集する</li> <li>・スピーチの形式を理解し、実際に発表する</li> </ul>	授業中の態度や課題の状況 話し合いや発表の姿勢 定期考査 冬期休業課題	A B C			
検定資格(時期)		特になし						
諸費用(予定)								
履修にあたって		「日本語」を使うことはできるが、「正確に使うこと」は難しい。 そこで、「より一層伝わる表現」を模索しながら、課題等への取り組みを重視していくので、授業にきちんと取り組む姿勢を維持することを心掛ける。						

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		国語・古典B		単位	2	履修区分	必修
対象学年・類型・コース		2年 普通科/総合学科					
使用教科書		『精選 古典B 改訂版』三省堂					
目標とする生徒の将来像		古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育むことができる。					
評価の観点		①関心・態度・意欲: 古典を読む力を進んで高め、古典についての理解や関心を深めようとしている。 ②読む能力: まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。 ③知識・理解: 伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・(方法)	自己評価		
1学期	第1回定期試験	○漢文 「桃花源記」  ○説話『古今著聞集』 「大江山」	・桃花源の状況と、そこに到達できる人間の条件とを理解する。  ・和歌の修辞法や歌合をめぐる登場人物のやりとりを理解し、説話の世界を読み味わう。	①「桃花源」という言葉の淵源としての話に関心を持つようとしている。(行動の観察) ③基本的な句法・語法を理解している。(記述の点検) ②文章を通して、登場人物の行動の意味を読み取っている。(記述の確認) ③和歌の修辞法について理解している。(記述の点検)	ABC 評価		
	第2回定期試験	○随筆『方丈記』鴨長明 「ゆく河の流れ」 「養和の飢饉」  ○漢文小話 「季札挂劍」 「漱石枕流」 「梁上君子」	・筆者の無常観や人生観を読み取るとともに、当時の社会状況について理解する。  ・比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。	①内容を踏まえて筆者の考え方や当時の社会状況を理解しようとする。(行動の観察) ②筆者の無常観や人生観を読み取っている(記述の確認) ②登場人物の考え方を読み取っている。(記述の確認)	ABC 評価		
2学期	第3回定期試験	○随筆『枕草子』清少納言 「春はあけぼの」 「雪のいと高う降りたるを」  ○物語『源氏物語』紫式部 「光源氏の誕生」	・筆者の美意識やものの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。  ・登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。	②筆者の美意識や機知を読み取っている。(記述の確認) ②登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。(記述の確認) ③基本的な敬語法について理解している(記述の点検)	ABC 評価		
	第4回定期試験	○漢文史伝『史記』司馬遷 「史記」	話の展開を読み取るとともに、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を読み味わう。	①著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。(行動の観察) ②話の展開を理解する(記述の確認)	ABC 評価		
3学期	第5回定期試験	○歌物語『伊勢物語』 「月やあらぬ」  ○軍記『平家物語』 「忠度の都落ち」  ○歴史物語『大鏡』 「弓争ひ」	・登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、和歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を理解する。 ・音読を通して語り物の特徴を知るとともに、生死に直面した人間の行動を通して、生き方についての考えを深める。 ・歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。	①物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとしている。(行動の観察) ③歌物語の特徴を理解している(記述の点検) ②登場人物の置かれた状況やその心情を読み取っている。(記述の確認) ①登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている(行動の観察)	ABC 評価		
	履修にあたって	古語辞典や漢和辞典、文法書等を使い、予習に取り組んだり自分で現代語訳したりする姿勢を身につけてほしい。また、授業のポイントを押さえたノート作りに取り組み、積極的な復習ができるよう活用する。					

教科・科目	地理歴史・世界史B		単位数	2	必修	必修	選択
学年・系列・コース	2年 総合学科						
使用教科書	世界史B(実教出版)		副教材	アカデミア世界史			
目標とする生徒の将来像	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察し、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と進歩を養う。						
評価の観点	①授業への関心、意欲、態度および、世界の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現していること。(10%) ②諸資料の収集、有用な情報の選択、読み取り、図表などへのまとめ。(10%) ③世界の歴史について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。						
学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力					評価の観点
1 学期	<b>序 章 ビッグバンから人類の出現へ</b> <b>第1章 西アジア世界と地中海世界</b> 1オリエント文明 2オリエントの統一 3ギリシアのポリス社会 4ヘレニズム時代 5ローマ帝国 6イラン民族の国家 <b>第2章 南アジア世界と東南アジア世界</b> 1インド文明 2東南アジア世界と海の道	・人類の起源と発達を「人類とはなにか」という視点に立って考えられる。 ・各地の古代文明の内容とその違いについて理解し、古代文明の後世への影響を考察できる。 ・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰を理解できる。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解できる。 ・都市国家から大帝國に発展したローマ文明の特質とイラン人の活動を理解できる。 ・南アジア世界の地理的特質を把握し、独自のインド文明が成立、発展したことを理解できる。 ・東南アジア世界の地理的特質を把握し、海と結びついた独自の文化を理解できる。					①②③
2 学期	<b>第3章 東アジア世界</b> 1中国文明の形成 2中国古代帝國の成立 3 2世紀までの朝鮮半島と日本列島 <b>第4章 中央ユーラシア世界と東アジア世界の展開</b> 1中央ユーラシア世界の国家形成 2胡漢融合帝國の誕生 3 3～9世紀の朝鮮半島と日本列島 <b>第5章 アフリカ世界と南北アメリカ世</b> 1サハラ以南のアフリカの古王国 2南北アメリカの先住民	・東アジア世界の地理的特質を把握し、中国文明の形成から秦・漢帝國の成立について理解できる。 ・中国古代帝國と東アジア諸地域との政治的・文化的な結びつきを理解できる。 ・強大な遊牧国家の成立から遊牧騎馬民族の動向を、中国の諸王朝と関連して理解できる。 ・魏晉南北朝時代の分裂時代をへて隋唐帝國の成立が、遊牧民や漢人など多様な人々を統治する胡漢融合国家であったことを理解できる。 ・唐帝國の影響を受け、朝鮮半島や日本列島で独自の国家形成が進んだことを理解できる。 ・アフリカ世界の地理的特質を把握し、独自の古王国が形成したことを理解できる。 ・南北アメリカ世界の地理的特質を把握し、先住民文化の特色を理解できる。					①②③
3 学期	<b>第6章 イスラームの広がり</b> と <b>西アジア世界の展開</b> 1イスラーム帝國の成立 2各地のイスラーム国家 3イスラームの都市と文化 <b>第7章 ヨーロッパ世界の形成と展開</b> 1ラテン＝カトリック圏の形成と展開 2ビザンツ帝國とギリシア正教圏 3ラテン＝カトリック圏の拡大 4ラテン＝カトリック圏の動揺と秩序の変容 5キリスト教世界のなかの文化 <b>第8章 中央ユーラシア世界と諸地域の交流・再編</b> 1中央ユーラシア諸民族と東アジア世界の変容、2モンゴル帝國の成立 3東南アジア世界の再編 4海域世界の展開と第一次大交易時代 5 10～13世紀の朝鮮半島と日本列島	・イスラームの誕生から大帝國に発展したイスラームの特質とアラブ人の活動を理解できる。 ・トルコ系諸民族によるイスラームの拡大や、インド・アフリカでのイスラーム化の過程を理解できる。 ・ムスリム商人の活動が、イスラーム諸都市を結ぶ国際商業ネットワークをつくりあげたことを理解できる。 ・ヨーロッパ世界の地理的特質を把握し、フランク王国の形成やヴァイキングの活動を理解できる。 ・ビザンツ帝國の盛衰と、ギリシア正教圏の拡大を理解できる。 ・封建社会の成立から十字軍前後のラテン＝カトリック圏の動向を理解できる。 ・スコラ学や大学の成立など、キリスト教世界のなかの文化の特色を理解できる。 ・遼・西夏・金などの諸民族の動向と宋の政治・産業・文化を理解できる。 ・モンゴル帝國の成立から元の中国支配までの動向と東西交流について理解できる。 ・海域東南アジアと大陸部での諸王朝の動向と文化の特色を理解できる。 ・中国商人・ムスリム商人の活動とモンゴル帝國による陸海一体化した交易の在り方を理解できる。 ・フビライの日本襲来を、朝鮮半島と日本列島との動向から理解できる。					①②③
検定資格(時期) 諸費用(予定)	なし						
履修にあたって	何時、どこで、誰が、何をし、どうなったかに心がけ理解するとともに、同じ時期に他の場所ではどのようなであったかも整理できるようにしよう。						

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		日本史B	単位	2	履修区分	選択
対象学年・類型・コース		2年普通科(選択者)総合学科国際文化系列(選択者)				
使用教科書		新選 日本史B (東京書籍)				
目標とする生徒の将来像		①我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。 ②各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。 ③歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う				
評価の観点		①定期試験 ②授業中の関心・意欲・態度・発問の観点等 ③単元ごとに実施する小テストなど				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価	
1 学期	第1回定期試験	第1章 古代国家の形成と貴族文化の誕生 1. 原始社会の生活と文化	○気候や地形、動植物相・植生の変化などの自然環境に着目し、人々の食料獲得方法や道具の変遷、呪術的風習、地域的な差異等を学ぶ。	定期試験 ノート提出		
	第2回定期試験	2. 農耕社会の形成と大陸文化の摂取 3. 律令国家の形成と古代文化の展開	○集落立地、食料獲得方法と食生活の変化、富の蓄積、習俗や基制の推移等の社会の変化を学ぶ。 ○小国の形成から大和王権にいたる過程と古墳文化の特色について学ぶ。	定期試験 ノート提出		
2 学期	第3回定期試験	4. 摂関政治と文化の和様化	○平安時代初期に、律令体制の再建が進んだことを学ぶ。 ○唐文化を消化した新たな文化が発達したことを学ぶ。 ○藤原氏による摂関政治が始まったことを学ぶ。	定期試験 ノート提出		
	第4回定期試験	第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ 1. 中世社会の成立 2. 武家社会の形成と東アジア	○鎌倉幕府が、二元的支配からしだいに公家政権より優位に立つようになっていったことを学ぶ。 ○元寇の前後、宋銭の流入によって貨幣経済が進化したことや鎌倉幕府内で得宗の力が強まったことを学ぶ。	定期試験 ノート提出		
3 学期	第5回定期試験	3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 1. ヨーロッパ文化との接触と国内統一	○大航海時代という世界史的背景のもと、日本に鉄砲やキリスト教が伝来したことを学ぶ。 ○織田信長・豊臣秀吉による天下統一の過程と、秀吉が実施した検地・刀狩・朝鮮出兵について学びます。	定期試験 ノート提出		
検定資格(時期)		特になし				
諸費用(予定)						
履修にあたって		ただの暗記教科ではなく、「なぜ?」という歴史的な疑問を持って授業に臨むことが大切である。歴史が苦手な生徒でも、授業内での間に積極的に答えることで、苦手を克服することができる。				

平成30年度 1年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		異文化理解	単位	2	履修区分	必修修 ・ 必修	選択
対象学年・類型・コース		2年・総合学科・国際文化系列					
使用教科書		「Reading Gym 英語速読テスト」「ALL EARS Vol.2」「Vintage 英文法・語法」					
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文を通じて、他国および日本の生活や文化などへの理解を深めるとともに言語や文化に対する関心を高めようとする生徒。</li> <li>・英文を読み、書かれている内容を理解できる生徒。</li> <li>・英文を聞いてその概要を理解することができる生徒</li> <li>・多様な物の見方や考え方を理解し、学んだことや得た情報をもとに、広い視野から自分の意見を相手に伝えたり簡単な文章で書き表したりできる生徒</li> </ul>					
評価の観点		<ol style="list-style-type: none"> <li>① 定期試験</li> <li>② 授業内小テスト</li> <li>③ 提出点</li> <li>④ 授業態度</li> <li>⑤ 発表点</li> </ol>					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力		主たる評価の観点・方法		自己評価
1学期	第1回定期試験	Reading Gym 第1～第3回 Vintage p464～p481 ALL EARS Lesson1～2 異文化理解①②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文の内容を理解できる。</li> <li>・語彙を理解して活用できる。</li> <li>・与えられたテーマについての理解を深め、自分の考えを書いたり発表したりできる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の小テスト</li> <li>・定期考査</li> <li>・宿題、提出物</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>		A B C
	第2回定期試験	Reading Gym 第4～第7回 Vintage p480～p501 ALL EARS Lesson3～5 異文化理解③④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文の内容を理解できる。</li> <li>・語彙を理解して活用できる。</li> <li>・与えられたテーマについての理解を深め、自分の考えを書いたり発表したりできる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の小テスト</li> <li>・定期考査</li> <li>・宿題、提出物</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>		A B C
2学期	第3回定期試験	Reading Gym 第8～第12回 Vintage p502～p517 ALL EARS Lesson6～9 異文化理解⑤⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文の内容を理解できる。</li> <li>・語彙を理解して活用できる。</li> <li>・与えられたテーマについての理解を深め、自分の考えを書いたり発表したりできる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の小テスト</li> <li>・定期考査</li> <li>・宿題、提出物</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>		A B C
	第4回定期試験	Reading Gym 第13～第18回 Vintage p518～p531 ALL EARS Lesson10～16 異文化理解⑦⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文の内容を理解できる。</li> <li>・語彙を理解して活用できる。</li> <li>・与えられたテーマについての理解を深め、自分の考えを書いたり発表したりできる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の小テスト</li> <li>・定期考査</li> <li>・宿題、提出物</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>		A B C
3学期	第5回定期試験	Reading Gym 第19～第24回 Vintage p238～p249 ALL EARS Lesson17～20 異文化理解⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文の内容を理解できる。</li> <li>・語彙を理解して活用できる。</li> <li>・与えられたテーマについての理解を深め、自分の考えを書いたり発表したりできる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の小テスト</li> <li>・定期考査</li> <li>・宿題、提出物</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>		A B C
履修にあたって		毎時間の授業には、必ず辞書も用意すること					



教科・科目		英語	総合英語	単位数	4	必修修	・(必修)	・選択
学年・系列・コース		2年 総合学科 国際文化系列						
使用教科書		NEW FLAG ENGLISH COMMUNICATION Ⅰ 副教材 WIDE ANGLE Infinity Book 2・3 / 総合英語						
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとし、相手を理解しようとする。</li> <li>学んだことや経験、知り得た情報をもとに様々な観点から自分の意見を伝えようとする。</li> <li>場面に応じた表現方法で自分の意見を表現できる。</li> </ul>						
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>①定期試験</li> <li>②授業態度</li> <li>③提出点</li> <li>④グループ活動状況</li> <li>⑤発表活動</li> </ul>						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力		主たる評価の観点・方法		自己評価	
1 学期	第 1 回定期考査	Lesson 1 (文の種類be動詞)	G.W 課題	・ be 動詞を用いた様々な英文を理解し、英文を作ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 発表活動(含T.T)</li> <li>・ 宿題</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	A・B・C		
		Lesson 2 (文の種類一般動詞)		・ 一般動詞の用法を理解し、英文を作ることができる。				
Lesson 3	・ 英文の基本的な形(文型)を理解し、英文を作ることができる。							
Lesson 4		☆ T.T 世界遺産について調べ、発表する。(L2)						
1 学期	第 2 回定期考査	Lesson 5 (基本時制)		・ 現在・過去・未来時制の区別ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 宿題</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> <li>・ 発表活動(含T.T)</li> </ul>	A・B・C		
		Lesson 6 (進行形)		・ 進行形の形と表す内容が理解できる。				
		Lesson 7 (完了形)		・ 完了形の形と用法が理解できる。 時制の違いを意識し英文を読み正しくかき るよとよは時制を用い英文を作ることに きる				
2 学期	第 3 回定期考査	Lesson 8 (助動詞 1)		・ 助動詞の種類が理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 宿題</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	A・B・C		
		Lesson 9 (助動詞 2)		・ 助動詞を用いて英文を作ることができる。				
		Lesson 10 (態)		・ 態の仕組みを理解し、能動、受動の書き換えができる。				
	2 学期	第 4 回定期考査	Lesson 11 (不定詞1)		・ 不定詞の種類が理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 宿題</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	A・B・C	
Lesson 12 (不定詞2)			・ 不定詞を含む英文を読み正しく英文を理解できる。					
Lesson 13 (動名詞)			・ 動名詞を含むさまざまな表現を使って、英文を作ることができる。 ・ 不定詞と動名詞の使い分けができる。					
3 学期	第 5 回定期考査	Lesson 14 (分詞)		・ 現在分詞と過去分詞の違いが理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 宿題</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	A・B・C		
		Lesson 15 (関係代名詞)		・ 関係代名詞を用いて名詞を説明できる。				
検定資格(時期)		6月・10月・1月に英語検定						
諸費用(予定)								
履修にあたって		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず辞書と参考書 be を用意すること。</li> <li>・提出ノートに書き込むこと。</li> <li>・リスニングがあります。</li> <li>・ALTとの授業が週1回程度入ってきます。積極的に参加して行きましょう。</li> </ul>						